

令和8年いすみ市議会第1回定例会一般質問通告一覧

通告 順序	議席番号及び議員名	質 問 事 項
1	12番 横山 正樹	<p>1 観光政策について</p> <p>①昨年3月の全員協議会で報告のあった（一社）ツーリズムいすみの新たな組織体制等について、どのような組織再編となり、いつ頃から実施されるのか伺いたい。</p> <p>②観光政策の道の駅構想をどのように考えているのか伺いたい。</p> <p>2 地域防災について</p> <p>①大原海岸地域には、災害避難施設がないがどのように考えているのか伺いたい。</p>
2	8番 魚地 展弘	<p>1 企業誘致の推進について</p> <p>市では、合併特例債が今年度で終了し、また少子高齢化に伴い生産年齢人口が減少することで、今後、従来のような財源確保が年々厳しくなると予想されます。持続可能な財源確保のためには、自主財源確保が不可欠であります。そこで、自主財源確保の有効な手段である企業誘致について質問します。</p> <p>①企業誘致は、財源確保のため必要不可欠であると考えます。そこで、これまで以上に計画的に取り組んでいく必要があると考えますが、市長の考えを伺います。</p> <p>②企業誘致におきましては、その形態や目的が様々であります。本市として想定している主な業種や企業の形態など、どこに重点を置くのか伺います。</p> <p>③企業誘致を進める上で、市が直面している課題についてどのように把握しているのか伺います。</p> <p>2 椿公園の活用について</p> <p>市が有する椿公園は、開園から30年余りが経過し、施設の老朽化により、長期間閉鎖されています。旧大原町のシンボルの町木である椿を多く有する同公園は、集客力のある観光資源が限られている中で、市民の憩いの場及び観光拠点として再生する価値があると考えます。そこで、以下の質問をします。</p> <p>①椿公園の現状及び再整備における課題について伺います。</p> <p>3 いすみ市における海業振興について</p> <p>漁業従事者の減少・高齢化が進む中、漁業者が水産物の生産だけでなく、漁村の地域資源を活用して</p>

通告 順序	議席番号及び議員名	質 問 事 項
		<p>所得向上を目指す「海業」が全国的に注目されています。市においても、豊かな海洋資源を活かした海業振興による漁業の活性化と地域経済の発展が期待されています。そこで、以下の質問をします。</p> <p>①市における、海業振興の現状と課題について伺います。</p> <p>②海や漁村の地域資源を活用し観光や体験型サービスを通じて地域の賑わい、所得、雇用を創出する考えがあるのか伺います。</p>
3	13 番 井上 ひろみ	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>①太田前市長は「憲法9条を守り平和を守る」ことを基本理念とすることを公言していました。市民の命と暮らしを守るため、政治の基本はどのようなことだと考えているのか伺います。</p> <p>②市の基本計画は、人口減少に対応し地域を活性化させる「人・経済・生活創生総合戦略」に基づき、2025年度から2027年度までの第3期計画が進められています。市長は「いすみビジョン」を掲げていますが、この基本計画との関係をどのように考えているのか伺います。</p> <p>③行政運営については、所信表明で「市民参加型の市政を進める」と発言しています。私も「市民が主人公の市政を」と言い続けてきましたので、賛同しますが、どのようなことをしていく考えなのか伺います。</p> <p>④「すぐやる課の設置」を公約に掲げていますが、その課はどのようなことをやろうとしているのか伺います。</p> <p>2 国民健康保険について</p> <p>①物価高騰が続く中で賃金や年金は実質マイナスになって市民の暮らしはますます厳しくなっています。保険税の負担軽減を強く求めますが、市の考えを伺います。</p> <p>②現在、未就学児の均等割については、半額国が負担するようになりましたが、18歳以下についても検討中とのこと。市でも子育て支援として、18歳以下の子供の均等割の支援を行う考えはないか伺います。</p> <p>3 通学路の安全対策について</p> <p>①保護者から、子供、とりわけ中学校の通学路で暗がりが多く夕方の帰宅時が不安という、声を伺っています。調査してみると街灯はあっても</p>

通告 順序	議席番号及び議員名	質 問 事 項
		<p>樹木が覆いかぶさり、暗がりになっているところが増えています。地域の協力で改善を図っていただきたいが市の考えを伺います。</p>
4	10 番 山口 朋子	<p>1 大原公民館棟改修・図書館整備と市民活動の共存について</p> <p>現在、大原公民館棟改修・図書館整備が進んでいます。改修後は、公民館・図書館の機能が向上し、地域の文化・学習活動の拠点としてより使いやすい施設になることが期待されています。文化活動や市民活動の継続に支障はないか以下について質問します。</p> <p>①大原公民館棟改修・図書館整備の現在の進捗状況と課題について伺います。</p> <p>②大原公民館棟改修・図書館整備に関連して市民から大原文化センターの利用ができないとの声が聞かれますが、市民の声をどう受け止めているか伺います。</p> <p>③地域の文化・学習活動の拠点として、より使いやすい施設になることが期待されていますが、図書館としての機能が十分に確保されるのか、改修後の図書館の規模、サービス、学習スペース、子供向け機能など、市民が安心できる情報があるか伺います。</p> <p>2 高齢者成人RSウイルスワクチンについて</p> <p>これから超高齢者社会を迎えるにあたり、高齢者の肺炎対策はますます重要になってきます。医療費削減、抑制の観点からもRSウイルスワクチンへの助成が必要と考えます。そこで、以下について質問します。</p> <p>①高齢者へのRSウイルスワクチン助成制度の必要性について、市はどのように考えているのか伺います。</p> <p>3 健康づくり事業について</p> <p>①市の健診受診率、生活習慣病の状況と、コロナ禍以降の運動不足によるフレイル・介護リスクの高まりについて、市はどのように認識しているのか伺います。</p> <p>②現行の健康ポイント制度にウォーキングポイントを加算できないか伺います。</p>

通告 順序	議席番号及び議員名	質 問 事 項
5	3番 峰島 正広	<p>1 軽自動車税の課税制度の公平性について</p> <p>一般市民が購入者（ユーザー）となる前段階にある商品軽自動車については、実際には使用されていないにもかかわらず課税対象となっている現状がある。同じ「未使用」あるいは「移動手段として供されていない」状態でありながら、用途や立場の違いによって税の取扱いに差が生じていることについて、市民の間には制度の公平性に対する疑問の声もある。そこで以下について伺います。</p> <p>①市において軽自動車税の減免対象となっている、警察・消防・障害者関連の各制度について、その趣旨及び減免内容とともに、一般市民との関係における「公平性」を市はどのように整理しているのかを伺います。</p> <p>②一方で、一般ユーザー向けに販売される商品軽自動車については、実際に使用されていない状態であっても課税されているが、この取扱いについて、市はどのような理由と制度的根拠に基づいているのか伺います。</p> <p>③警察・消防・障害者等の車両については、公共性・福祉性の観点から減免措置が講じられている一方、一般ユーザー向けに販売される商品軽自動車については、実際の使用の有無にかかわらず課税対象となっている。このように、制度上の区分により課税・減免が分かれている現状について、市は市民に対してどのような考え方で説明しているのか伺います。</p> <p>④軽自動車が生活必需品となっている本市の実情や、物価高騰、公共交通の利便性低下といった環境の変化を踏まえ、現行の軽自動車税の課税制度について、一般ユーザーの負担や市民の納得感の観点から、一般ユーザー向け商品軽自動車の課税免除制度の在り方を検証・見直していく考えはあるのか伺います。</p> <p>2 リチウムイオン電池の回収及び保管体制について</p> <p>リチウムイオン電池は発火・火災の危険性が高く、クリーンセンターにおいては適切な分別、回収、保管体制の構築が重要である。本市では現在、リチウムイオン電池を含む一般廃棄物について定期的な回収は行っているものの、一方、クリーンセンターでは過去に収集車の原因不明な火災が発生しており、</p>

通告 順序	議席番号及び議員名	質 問 事 項
		<p>今後の火災事故防止の観点から、回収後の保管方法を含めた安全対策の確認が必要である。そこで以下について伺います。</p> <p>①リチウムイオン電池の回収及び保管体制について、どのように安全性を確保していく考えか市の見解を伺います。</p> <p>3 三軒屋海岸トイレ及び駐車場の外灯設置について</p> <p>三軒屋海岸トイレ及び駐車場について、外灯が無いことに対して市民から夜間利用時の安全性に対する不安の声が寄せられている。公衆トイレ及び駐車場は、誰もが安心して利用できる公共施設であり、その安全性の確保は行政の重要な責務であると考えます。そこで以下について伺います。</p> <p>①三軒屋海岸トイレ及び駐車場における夜間の安全性について、市として現状をどのように認識しているのか伺います。</p> <p>②観光振興の観点も含め、海岸施設全体の夜間環境整備について、今後どのように取り組んでいくのか伺います。</p>
6	6番 元吉 栄一	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>市長は多数の公約を掲げて当選し、広報いすみ 1月号では、「太田市政の引き継ぐべきところは継続し、改革すべきことは改革し」と述べられておりますが、多様化する市民ニーズや社会情勢の変化などに対応していくには、事業の精査と見直しを行い、財源の有効活用を図り、職員からの提案もしやすい職場づくりが必要と思うことから以下の質問をします。</p> <p>①現在も事務事業評価を行っているが、早期に事業の精査と見直しを行う考えはないか伺います。</p> <p>②事業の精査と見直しを行うには、行政課題や実施事業の状況を最も把握している職員から提案を得ることが有効であり、そのためには提案しやすい風通しの良い職場づくりが欠かせないと思うがどのように考えているか伺います。</p>
7	1番 せんだ 雄太	<p>1 民泊によるゴミ問題について</p> <p>現在、和泉区内で発生している不法投棄された多くのゴミは民泊の増加に比例している状況です。民泊施設から排出されるゴミについては、分別違反や不法投棄などにより地域住民の負担は増していま</p>

通告 順序	議席番号及び議員名	質 問 事 項
		<p>す。他地区においても同様のケースが発生している可能性は十分に考えられます。そこで以下の質問をします。</p> <p>①民泊施設から排出されるゴミについて、分別違反や不法投棄が確認された場合、住宅宿泊事業者への連絡・指導はどのように行われているのか伺います。</p>
8	4番 浅野 照久	<p>1 教育施策の充実について</p> <p>市長は、県議会議員として長年にわたり文教常任委員会に所属されるなど、教育行政に造詣が深く県全体の教育行政の発展に尽力してこられました。そこで市長の考えを伺います。</p> <p>①いすみ市のリーダーとして市の未来を担う子供たちに、どのような大人へと成長してほしいと考えているのか伺います。</p> <p>②全国的に自治体の特色を生かした教育行政施策が展開される中、市においても「いすみ市ならではの特色ある教育」の実現が期待されています。そこで市の学校教育施策について、市長の方針を伺います。</p> <p>③全国的に不登校児童生徒数が高止まりしている中、市における不登校児童生徒への支援体制について伺います。</p> <p>④教職員の働き方改革について、質の高い教育を提供するために、教職員が子供と向き合う時間の確保が不可欠です。しかし、業務の肥大化・複雑化により、本来の業務に支障をきたしている状況が伺えます。そこで市の教育現場の現状と課題について伺います。</p> <p>⑤部活動の地域移行について令和7年第1回定例会の答弁では、具体的なスケジュールとして、令和7年度には市内3中学校において、少なくとも1つの部活動を地域での活動に委ねていくとのことでした。その後の進捗状況と、教職員の負担軽減に向けた具体的な取組について伺います。</p> <p>⑥熱中症対策の観点から体育館への冷房設置は急務と考えます。今後、設置する計画があるのか伺います。</p> <p>2 子育て等の支援体制について</p> <p>①いすみ市子ども・子育て支援事業計画に基づき、妊娠・出産期から乳幼児期・学童期を経て、さ</p>

通告 順序	議席番号及び議員名	質 問 事 項
		<p>らには若者の自立支援に至るまで一貫した切れ目のない支援体制をどのように構築していくのか伺います。</p>
9	11 番 田井 秀明	<p>1. 地域医療の提供体制について 市長は、3つの重点施策の第1に「いすみ医療センターの大改革と地域医療の充実を挙げ、医療提供体制を見直し、質の高い医療サービスを地域の皆様に提供できるよう、関係者と力を合わせて新しい取組を進める」と表明したが、近い将来、市内の診療所が相当数減ると思われるが、どのように医療提供体制を見直し、再構築しようと考えているのか伺います。</p> <p>2. 行財政改革について 市長は、最初の4年間で財政再建で足元を固め直すことの必要性を語っていたが、その手法として事業仕分けが有効と考えるが、市としてどのように考えているのか伺います。</p> <p>3. 大規模地震や津波の災害対策について 大規模地震や津波が発生した場合の避難誘導路の確保は重要だが、夜間の避難誘導路の明確化はどのようにになっているのか伺います。</p> <p>4. 農地の埋立てについて 農地を埋立てた後、耕作を行っていない農地が多く見られる。違法埋立ての対応についてどのように考えているのか伺います。</p>